

国土交通省中部地方整備局との意見交換会

三重県商工会議所連合会

令和6年12月12日（木）、三重県商工会議所連合会（会長：伊藤歳恭）は、津商工会館において、国土交通省中部地方整備局との意見交換会を開催しました。

県内12商工会議所の会頭や副会頭、専務理事の25名が出席し、国土交通省からは中部地方整備局の佐藤寿延局長をはじめ担当部長等の13名が参加しました。

伊藤会長は挨拶の中で「地元経済界からの要望が高い道路整備について、多くの路線で工事が着実に進捗していることに対し、感謝を申し上げます。なかでも、東海環状自動車道については、令和8年の全線開通まで、あと一歩というところまで進めていただいております。現在整備中の道路は、地域活性化に寄与する大変重要な社会基盤として、今後の企業誘致や観光振興についても期待しているところであり、早期の完成を心待ちにしております。」と述べました。



▲挨拶をする伊藤会長



▲挨拶をする佐藤局長

その後、佐藤局長から挨拶があった後、中部地方整備局より「社会資本整備をめぐる最近の動き」について情報提供がありました。情報提供後は、「中勢・伊賀地域」「北勢地域」「南部地域」の3地域ごとに、各商工会議所の会頭等が発言、同整備局が回答し、意見交換を行いました。



意見交換会の様子

最後に、伊藤会長と佐藤局長から総括があり、今後のインフラ整備に向け大変有意義な意見交換会となりました。